

株式会社ファイン (大阪府大阪市)



企業理念は
「思いを形にできる
頼れる存在になる」

問い合わせ先

- ・電話番号: 06-6448-0013
- ・問い合わせ: <https://www.fine-d.co.jp/contact/contact.html>

会社概要

- ・会社名: 株式会社ファイン
- ・URL: <https://www.fine-d.co.jp/>
- ・代表者名: 古川 武志
- ・住所: 大阪市西区江戸堀1-5-16
JMFビル肥後橋01 11F
- ・営業所・主な開発拠点等
(住所) 東京都新宿区新宿1-9-1 NEOX新宿ビル8F
- ・資本金: 3,000万円
- ・従業員数: 70名(2023年10月現在)
- ・売上高: 非公開



事業実績

コンテンツ制作

■VR	■AR	□MR	■その他(画像生成AI)	
メタバース	■空間構築	□空間運営	デジタルツイン	□デジタルツイン

得意領域・対象業種

■製造業	■建築	■教育	□医療ヘルスケア
□観光・エンタメ	■イベント	□小売・EC	□その他()

対応デバイス

■PC	■スマホ	■HMD等	□スマートグラス等	□ゲームハード
-----	------	-------	-----------	---------

人材のスキル

■Unity	■Unreal Engine	■C#	■C++	■JavaScript
--------	----------------	-----	------	-------------

主な事業・コンテンツ

・PRポイント

住宅系VR空間のプレゼンテーションの分野において、2019年12月に「仮想現実表示システム、仮想現実表示方法及びコンピュータプログラム」の特許を取得。この特許を活かした独自のVRコンテンツ、VRツールを開発。大手ハウスメーカーなどに導入されています。

・XR事業に関する概要

2013年より、いち早くVRに着目し、技術研究、開発をスタート。建築パース制作で培ったノウハウを活かし、高画質な住宅系VRモデルハウスなどの制作や、施主ごとのCADデータを簡単にVR変換してプレゼンできる邸別VRシステムなどを開発。

強み・特徴(知識・技術、企画運営等の強み)

株式会社ファインのVRプレゼンシステムが採用される理由は、特許技術を使用した効果的なVRシミュレーションができることです。ファインは、2013年よりいち早くVRの開発に着手し、「VR元年」と呼ばれる2016年の前年、2015年6月には特許を出願しており、2019年12月に「仮想現実表示システム、仮想現実表示方法およびコンピュータプログラム(特許6629528号)」として特許を取得しています。

その特許技術は、ヘッドマウントディスプレイを装着した体験者自身が、VR空間上に表示されているユーザーインターフェースを操作して、間取りプランや構造の変更、壁の色や素材、床や天井の高さ、窓やドアの開閉、家具の配置など、建物やインテリアをVRシミュレーションできるという技術です。

従来のVRプレゼンシステムは、オペレーターがPCで操作するVR空間を、お客様がヘッドマウントディスプレイ越しに見るだけの受け身的なツールですが、この特許を使用したVRプレゼンシステムは、お客様自身が操作してVR空間をシミュレーションができることから、お客様の没入感が高まることでお客様のニーズも拾いやすく、効果的なプレゼンテーション、商談につながっています。

XR制作スタッフ

スタッフ	社内の有無	(人数)	協業先の有無
制作企画者	有	5	無
エンジニア	有	9	有
デザイナー	有	5	無

XRコンテンツ制作実績(URL)

- [・ハウジングVR](#)
- [・AUTOPERS VR\(オートパースVR\)](#)
- [・アップ・グレイド社 VRモデルルーム制作\(2022年8月\)](#)



アワード受賞・報道等の実績

- [・ファッション、カルチャー、アート分野のXRコンテンツアワード「NEWVIEW AWARDS」受賞\(2020年11月\)](#)

対応可能言語

日本語
英語